

RNA 保存液「RNA SHIELDER™」

RNA SHIELDER™

FAQ

第1回め
よくあるご質問にお答えします

ssRNA や totalRNA を、冷蔵(2~8℃)で溶液のまま、安定的に長期保存するための保存液。それが、RNA SHIELDER™ です。

これまで、RNA SHIELDER™ に関するご質問をたくさんいただきました。もっと本製品を知っていただくために、特に多かったご質問を、2回に分けてご紹介したいと思います。

第1回めは、『RNA SHIELDER™ の特長』に関するご質問に絞ってご紹介します。

FAQ①

Q. RNA SHIELDER™ の類似品がたくさんあるように思うのですが。

A. 他製品との違いは、RNA 自体を冷蔵(2~8℃)で溶液のまま長期保存できること。組織や細胞を保存する試薬ではないという点が大きく異なります。

コントロール RNA の溶液保存や、RNA 抽出に起因するバラツキを解消したい方にお薦めです。溶液保存なので凍結融解による RNA 劣化の心配がありません。

FAQ②

Q. RNA SHIELDER™ を使用した時の RNA サンプルの保存条件と保存期間を教えてください。

A. RNA を、冷蔵(2~8℃)で溶液のまま保存できます。正しい混合比率（体積混合比 RNA サンプル : RNA SHIELDER = 9 : 1）の場合、totalRNA で1年、ssRNA で半年間保存できることが確認されています。

FAQ③

Q. RNA SHIELDER™ の試薬としての使用期限は？

A. -20℃凍結保存で未開封の場合、使用期限は1年です。

FAQ④

Q. 使いかけの RNA SHIELDER™ の保管方法は？

A. 未開封時は-20℃凍結保存を推奨しております。開封後は2~8℃冷蔵保存いただき、できるだけ早めにご使用ください。-20℃での再凍結も可能ですが、融解を繰り返すは避けていただくようにしてください。

FAQ⑤

Q. RNA SHIELDER™による反応系への阻害が心配です。

A. 心配はありません。弊社では RNA SHIELDER™の開発とともに、RNA SHIELDER™で 4℃保存したサンプル RNA を用いて、実験系への有効性を検証しています。逆転写反応および PCR を阻害しないというだけでなく、次世代シーケンスにおいても -80℃保存のサンプルと同等の結果が得られています。

詳しくは、弊社ホームページの「NGS 実験系データ」「保存試験データ」をご覧ください。

今回は、『実際に RNA SHIELDER™を使用する際の諸注意』についてご紹介したいと思います。

RNA SHIELDER™に関して、詳細は[こちら](#)